

学校評価シート(自己評価) 2024 (2025作成)

蓮 田 幼稚園

1. 園の教育目標

決して何かを教え込むのではなく、同年齢の子どもが集まって楽しく遊び生活している中に、生活の仕方を覚えたり、遊びのルールを守ったり、ひとりで考え出したりしながら心身ともに健やかになるような土台をつくるように導くこと。そして幼児に無理のないように、感情や知性を育てながら、心と身体のバランスが取れた年齢相応の力づよい生活が出来るような生活指導(しつけ)に重点をおいてすすめていきます。

2. 具体的な目標や計画

評価項目に沿って、自園の活動を自己評価することによって、一日一日の教育活動に主体的に取り組みながら園児の心身の発達のサポートにつながるよう努めていく。

3. 評価項目の取り組み及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
1. 教育要領、教育課程を踏まえ、園の教育方針に沿った学年、学級経営を行う。	A	個人差があることを受け止めつつも全体として基本的なしつけ、学習成果をあげられるよう粘り強く指導をすすめている。また、少人数になり、行事やその他の園生活において変化を求められている中で、懸命に対応している。
2. 子どもたち一人一人の発育に合わせた教育活動に努める。	B	子どもひとりひとりの特徴が教員間で共有されつつも、それに対して園全体としてどのように発育を促すかという難題は常にあると感じる。
3. 教育活動及び各学級経営をサポートするため、円滑な事務設備管理をする。	A	安全や衛生管理を法規に準じて計画を立てて実施し、職員の労働環境への配慮を心がけている。
4. 保護者、地域住民に開かれた幼稚園づくりを心がける。	B	園活動の広報や資料請求受付などは随時行っており、市の説明会にも加わっている。ホームページ以外の方法についても検討をしていく。
5. 円滑な園経営のため、園組織として「お互いに支えあう協力関係」を重視している。	B	日々めまぐるしく園児の様子は変化し、それに対して連絡のやりとりを工夫している姿勢が見られる。一方でミスや誤解に対しても柔軟に対応する意識がある。心理的なゆとりをなるべく保てるよう、引き続き奨

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	コロナ禍が明け、なお少子化や園児数減少という現状は行事などの変化を必要とするが、引き続き体を使った外遊びや室内での遊戯、教育指導の面で対応されている。 また、集団指導というなかでケガやトラブル、発達に合わせた対応という面ではなお難しさが残るものの、保護者や関係機関の理解を得られるよう努力されている。

○結果(※)について

A	十分達成されている。
B	達成されている。
C	取り組まれているが、成果が十分でない。
D	取り組みが不十分である。

5. 取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
環境面の対応	劣化した遊具などの器物の点検が必要になってきている。
心理的なゆとり	園生活に関わる全ての人と人との関わりの中で、心理的なゆとりを支えながら業務に努めたい。

学校評価シート(学校関係者評価)2024(2025年作成)

幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 令和 7 年 6 月 7 日 (金)

10 : 00 ~ 11 : 00 (時間)

出席者 評価委員(地域住民) 1 人

評価委員(元・保護者) 1 人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

価値観が多様化している昨今、柔軟に対応できるように設定できていると思われる。

2. 評価結果の内容は適切であったか

おおむね適切であったと思われる。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか。

遊具などの点検は、対策であって課題ではない様に思われる。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか。

課題をあげてそれに向けて取り組むというよりも、目の前の子どもたちとの日々のやりとりを大切にすべきだと思う。

学校評価シート(学校関係者評価)2024 (2025年作成)

		幼稚園 学校関係者評価委員会			
日時	令和	7	年	6	月 1 日 (金)
		10	: 00	~	11 : 00 (時間)
出席者	評価委員(地域住民)				1 人
	評価委員(元・保護者)				1 人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

適切であ,た,と思います。

2. 評価結果の内容は適切であったか

おおむね 適切であ,た,と思います。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか。

安心・安全に取り組める環境は,どの園,どの施設でも
求められていることなので,適切である,た,と思います。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか。

適切であ,た,と思います。日々元気に動き回る子どもたちの
ための環境づくりは,消耗も激しいので,物理的,心理的に
も維持できることを望みます。